



# 夏の日差しにきらめく壘球少女

むらまつ ほのか  
**村松 歩果** さん  
いわくら ひな  
**岩倉 妃七** さん



## PROFILE (写真左から)

むらまつ ほのか(朝比奈原・9)  
ショート。右投げ左打ち。体育の授業が好き。  
いわくら ひな(東町・8)  
レフト。右投げ右打ち。食べるのが好き。

## ソフトで全国大会出場

浜岡北小3年の村松歩果さんと第一小3年の岩倉妃七さんが所属するスポーツ少年団「掛川桔梗女子ソフト」は、県大会で準優勝し、千葉県で開催された第31回全日本小学生女子ソフトボール大会へ出場した。

### 春にも全国大会への出場経験がある歩果さん。「春の大会はエラーをしてしまい悔しい思いをした。今度は絶対したくない」と話した。一方、妃七さんは初めての全国大会。「試合に出たら、打席ではボールをよく見てヒットを打ちたい」と意気込みを語る。チームの監督を務める栗田共臣さんは「彼女らは3年生でも大変重要な戦力。全国大会でも上級生に負けない頑張りを見せてほしい」と話した。

## 練習漬けの週末

練習は土日の8時30分から16時。バッティングや守備などのメニューを一日かけてこなす。休日のほとんどを練習に費やし、技術を磨いている。大人顔負けの練習量だ。日々暑さが増す中、全国大会に向

け力を伸ばそうと、どの練習にも集中して取り組む。

歩果さんは「スラップ※するときのバットの出し方やタイミングが難しい」、妃七さんは「フライがあがったときにバックして捕るのが苦手」とそれぞれの課題を見つけ、克服に取り組んでいる。

## チームを支える選手に

歩果さんは「6年生になったときには、みんなを勇気づけられるような実力のある選手になりたい」と目標を話す。栗田監督は「今の6年生はとても実力があり、彼女らを見本に追いつけ追い越せで頑張ってほしい。2人が6年生になったときには、チームを支える主力選手として活躍してほしい」と期待を寄せる。

「外野までボールを飛ばせたいときが楽しい」と攻撃が好きなきな歩果さんと「フライがうまく捕れたときが楽しい」と守備が好きなきな妃七さん。2人の「好き」が武器になり、チームを引っ張る選手になるのが楽しみだ。

※スラップ：セーフティーバットの形から動きながらボールをたたく打法